

2015年度 吉川青年会議所

子どもたちの好きを知る意識調査

調査結果報告

**2015年11月16日(月)
吉川市商工会館 2階**

輝く心醸成委員会



1. 趣旨説明

輝く心醸成委員会では『好きで灯せ輝く心』をスローガンに掲げ、子どもたちの「好き」について向合う活動をしている。

事業の一環として、8月に子どもたちと満天の星空を観に行く計画があるが、星だけでは年間を通して子どもたちの無限の可能性を秘めた「好き」に対して目を向ける機会が少ないのではとの思いがあった。

そこで、せめて今の子どもたちは何が「好き」なのか、何に興味を持っているのかを意識調査することで知り、私たち大人との心の距離を縮めることで、より充実した青少年健全育成事業を実施できると考えた。

さらには、意識調査結果を次年度以降へ引き継ぐことで、同事業を計画する上での良き参考資料となることを期待すると同時に、対外へ公開することで街づくりにもつながると考えた。

2. 意識調査の目的

【対内目的】

- ①意識調査に取り組むことで、我々青年会議所が青少年健全育成のリーダーである意識を持つ。
- ②調査結果をまとめることで、子どもたちの好きなことについて知り、考えることで2015年度はもちろんのこと、次年度以降も続く青少年育成事業の事業計画に役立つ資料を残す。

2. 意識調査の目的

【対外目的】

- ①子どもたちが意識調査に回答することで、自らの好きなことについて考えたり表現でき、自らの好きについて考える機会を提供する。
- ②意識調査結果を吉川市、松伏町の教育委員会や学校・行政・地域団体へ報告し共有することで、より子どもたちの実情に合った青少年健全育成や教育に生かしていただく。

3. 意識調査の実施内容

< 意識調査実施の流れ >

協力依頼

(教育委員会)

- ・ 1月中旬
趣旨説明
- ・ 意識調査
票内容精査
- ・ 意見収集
- ・ 意識調査
票の内容
修正

協力依頼

(対象学校)

- ・ 1月下旬
協力依頼
- ・ 趣旨説明
- ・ 対象学年
と人数を
説明

意識調査票 配布

- ・ 1月中旬
高校へ配
布
- ・ 2月初旬
小中学校
へ配布

意識調査 実施

- ・ 1月末高
校3年の
み実施
- ・ 2月初旬
～中旬
小中高に
て実施

意識調査票 回収

- ・ 2月中旬
高校回収
- ・ 2月末小
中学校回
収

御礼状 配布

- ・ 3月上旬
小中高校
へ配布

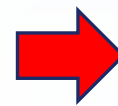
<対象学校と人数の選定>

【吉川・松伏地域の学生人数】

全ての学生を対象に計画していたが1万人規模となり
年度末時期により、学校側の負担が大きいと判断した。

学生人数(人)	小学生	中学生	高校生
吉川市	4,367	2,129	550
松伏町	1,757	1,013	694
小計(人)	6,124	3,142	1,285
合計(人)	10,551		

【学校側の負担軽減策】



- ①対象学校の抽出
- ②対象学年の分散
- ③対象学級数の抽出

<意識調査対象者>

【教育委員会】

調査対象学校を管轄する吉川市・松伏町・埼玉県の教育委員会が窓口となり、事前に依頼と許可を得ることで学校側への協力依頼もスムーズに行えた。

調査対象を管轄する教育委員会		管轄する学校
吉川市	吉川市教育委員会	市立小学校・中学校
松伏町	松伏町教育委員会	町立小学校・中学校
埼玉県	埼玉県教育委員会	県立高等学校

【小学生】

- ①人数が多い学校は2学年にて2学級ずつを対象とした。
 ②人数が少ない学校は、2学年にて1学級ずつを対象とし、同学年を対象とした2つの学校と合算することで①とほぼ同人数の回答を得た。
 これにより、各校の学生数に応じて負担軽減を実施した。

調査対象学校		対象学年 学級数	有効回答人数(人)	
小学生	吉川市立栄小学校	1年生 2学級 6年生 2学級	59 73	132
	吉川市立三輪野江小学校	2年生 1学級 5年生 1学級	30 35	65
	吉川市立旭小学校	2年生 1学級 5年生 1学級	36 40	76
	吉川市立美南小学校	3年生 2学級 4年生 2学級	62 57	119
	松伏町立松伏小学校	1年生 1学級 6年生 1学級	30 36	66
	松伏町立松伏第二小学校	2年生 1学級 5年生 1学級	26 30	56
	松伏町立金杉小学校	3年生 1学級 4年生 1学級	40 37	77
	有効回答人数 合計			591

【中学生・高校生】

- ①中学生は全学年を対象としたが、人数が多いため各学年より3学級と1学級とし、学校側の負担軽減を実施した。
- ②高校生は学校側の御協力のもと、全学生を対象にて実施した。

調査対象学校		対象学年 学級 数	有効回答人数(人)	
中学生	吉川市立中央中学校	1年生 3学級	93	309
		2年生 3学級	107	
		3年生 3学級	109	
中学生	松伏町立松伏第二中学校	1年生 1学級	34	102
		2年生 1学級	35	
		3年生 1学級	33	
有効回答人数 合計				411

調査対象学校		対象学年 学級数	有効回答人数 (人)	
高校生	埼玉県立吉川美南高等学校 ※定時制を除く	1年生 3学級	182	470
		2年生 3学級	147	
		3年生 3学級	141	
高校生	埼玉県立松伏高等学校	1年生 3学級	226	650
		2年生 3学級	205	
		3年生 3学級	219	
有効回答人数 合計				1,120

【学生全体】

有効な回答を得た、小学生・中学生・高校生の全ての学生数は合計 2,122人であった。

調査対象学校	学年	男	女	男女計	学生別計	
学生全体	小学生	1年生	42	47	89	591
		2年生	43	49	92	
		3年生	49	53	102	
		4年生	39	55	94	
		5年生	55	50	105	
		6年生	51	58	109	
	中学生	1年生	61	66	127	411
		2年生	74	68	142	
		3年生	68	74	142	
	高校生	1年生	149	259	408	1,120
		2年生	131	221	352	
		3年生	134	226	360	
	有効回答人数 合計(人)					2,122

【意識調査回答率】

	小学生	中学生	高校生
吉川・松伏地域全学生 (人)※1	6,124	3,142	1,285
有効回答人数(人)	591	411	1,120
学生別 回答率(%)	9.7	13.1	87.2

※1 2014年12月現在 吉川JC調べによる

吉川・松伏地域全学生合計(人)	10,551
有効回答人数合計(人)	2,122
回答率(%)	20.1

＜質問内容の構成と目的＞

【小学生】

小学生の好きなことへの意識は、6年間の間に成長と共に変化
すると考え、屈託の無い好きなことや将来の夢を調査できる
質問構成とした。

- 1. 流行していることを調査 → 質問①
- 2.好きなことを調査 → 質問②
- 3.好きなことへの将来性を調査 → 質問③



意識調査票
(小学生)

【中学生・高校生】

中学生と高校生は、それぞれ個性が現れ、好きなことに対して明確な意見や思いを持つ年齢であると考え、小学生の好きなことや夢からの意識変化や好きになったプロセスと将来性を知ることのできる質問構成とした。



意識調査票
(中学生)



意識調査票
(高校生)

1. 今好きなこと(好きだったこと)を調査 ➡ 質問① 及び ②
2. 好きなこととの出会いを調査 ➡ 質問③ 及び ④
3. 好きなことへの探究・向上性を調査 ➡ 質問⑤ 及び ⑥
4. 好きなことへの将来性を調査 ➡ 質問⑦、⑧、⑨、⑩

<意識調査の回答方法>

【回答者情報】

学年、年齢、性別

【小学生】

質問①、②、③ ➡ 自由回答(ひとつ)

【中学生・高校生】

質問①、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧ ➡ 選択回答(一つ)

(その他 ➡ 自由回答)

質問②-1、⑨-1、⑨-2、⑨-3、⑩ ➡ 自由回答(一つ)

質問②-2 ➡ 選択回答(一つ) 及び 自由回答(一つ)

＜意識調査の集計方法＞

意識調査票 整理

- ・ 学校別
- ・ 学年別
- ・ 学級別
- ・ 性別
- ・ 白票除去

集計表入力

- ・ 自由回答は
言葉を入力
- ・ 選択回答は
番号を入力

回答整理 集約

- ・ 自由回答の
類誤字脱字
のチェック
- ・ 似言葉を統
一化

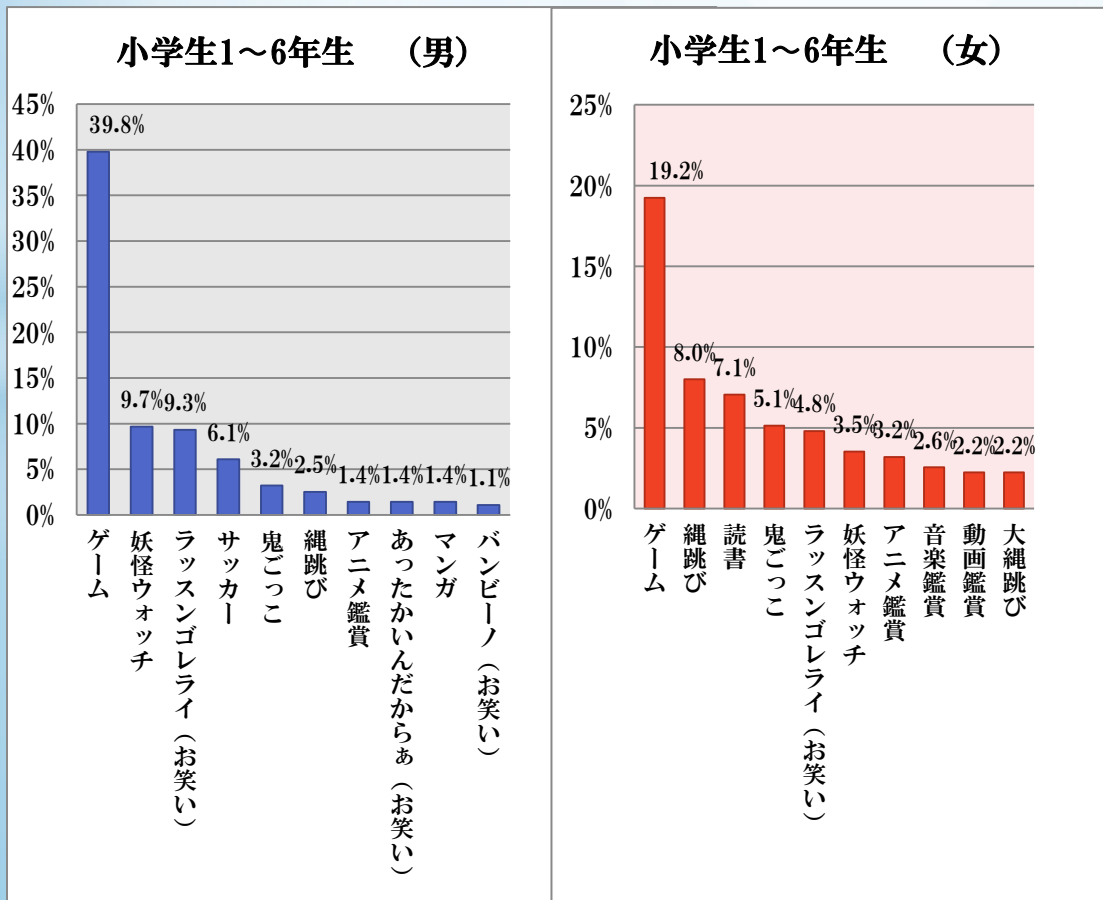
集計結果 まとめ

- ・ 質問項目
別による回
答数順位を
整理
- ・ 傾向の評価

3. 集計結果

【小学生】

質問① みなさんが今、夢中になっている面白いことは何ですか？



男女共に多くが低学年よりゲームに夢中と回答、流行ものとしては妖怪ウォッチやお笑いネタが多く、世代を感じるが、鬼ごっこや縄跳びなど、屋外での遊びも昔と変わらず人気のようである。

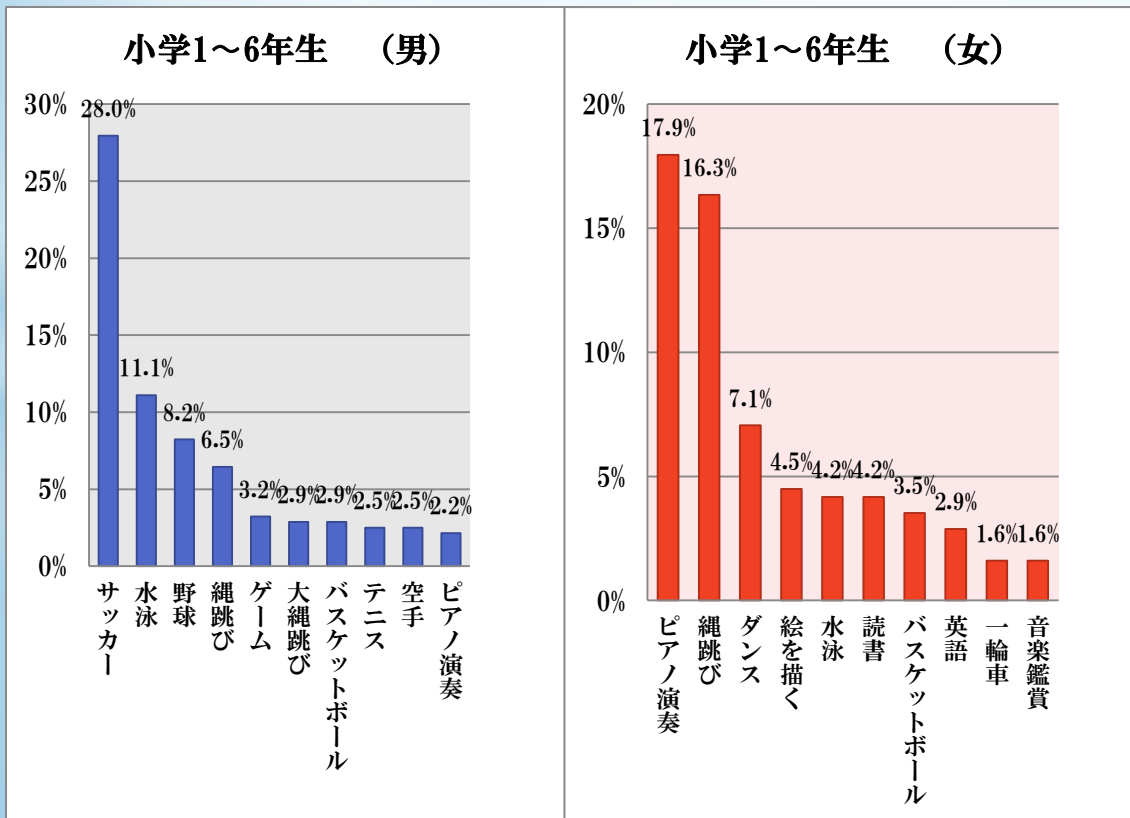
女子で人気の読書、1年生ではランキングされず、読み書きの成長が反映か。



集計結果詳細

【小学生】

質問② みなさんが今、「好き」な趣味や特技は何ですか？



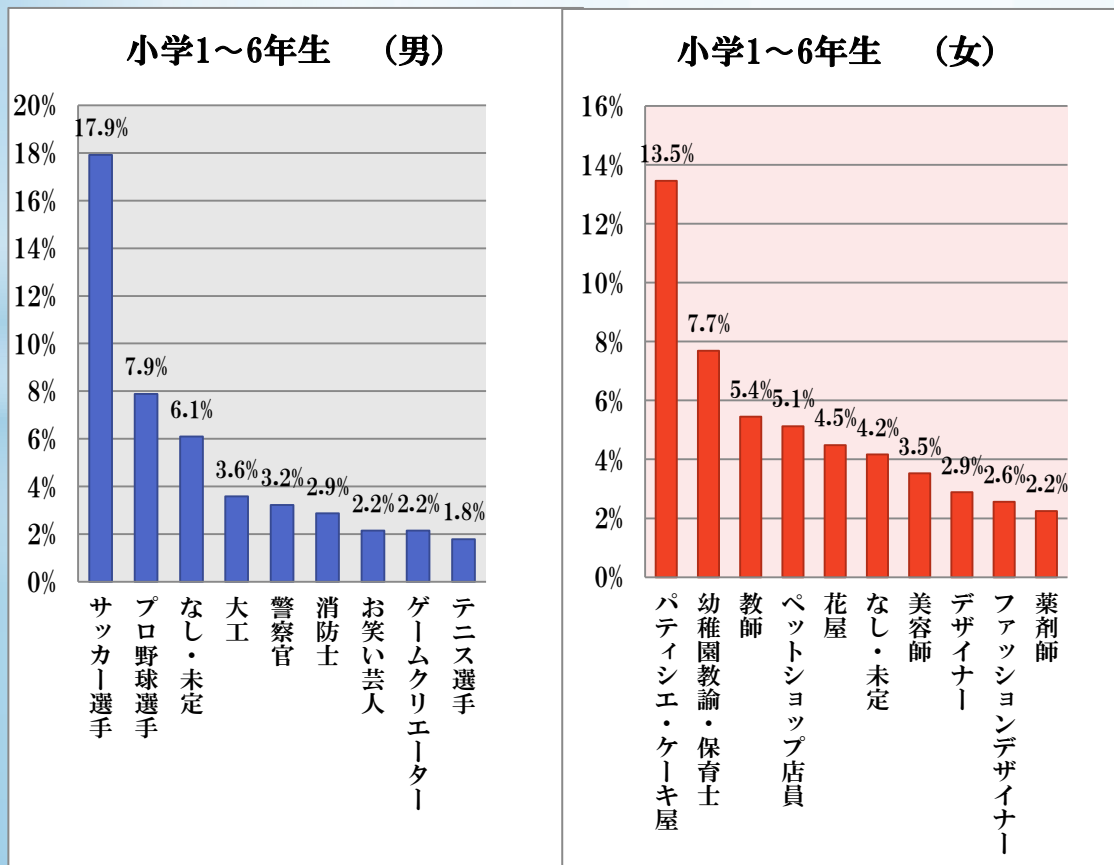
男子は全学年で定番のサッカーが圧倒的に多い。もう一つ定番の野球も人気だが今や二大人気とは言えないようだ。

女子はピアノ演奏と縄跳びが揃って人気のようである。男子の水泳の人気は意外であり、空手やピアノ演奏、英語など、習い事の影響を受けての人気が見受けられる。



【小学生】

質問③ みなさんが将来なりたい職業や夢は何ですか？



男子はやはりサッカー選手やプロ野球選手が根強い人気のよう。その他格好いい職業が上位を占めた。女子も定番のケーキ屋さんや保育士が多く、教師に憧れる生徒も多いようだ。様々な職業や夢に憧れる一方で、なし・未定と答える生徒も人気職業を上回る数と言える。多すぎて決められないのか、無いのか気になる結果となった。



【中学生】

質問① あなたが今、「好き」な趣味や特技はありますか？

回答	中学1年生					
	男		女		男女総計	
	61		66		127	
ある	54	88.5%	61	92.4%	115	90.6%
なし	7	11.5%	5	7.6%	12	9.4%

回答	中学2年生					
	男		女		男女総計	
	74		68		142	
ある	67	90.5%	59	86.8%	126	88.7%
なし	7	9.5%	9	13.2%	16	11.3%

回答	中学3年生					
	男		女		男女総計	
	68		74		142	
ある	62	91.2%	72	97.3%	134	94.4%
なし	6	8.8%	2	2.7%	8	5.6%

中学生では、学年を問わず9割ほどが趣味や特技があると答えた。

同じく、小学生での調査結果では「なし」と答える生徒はいなかったことから、中学校生活の中で心の変化が起きているのではないか。

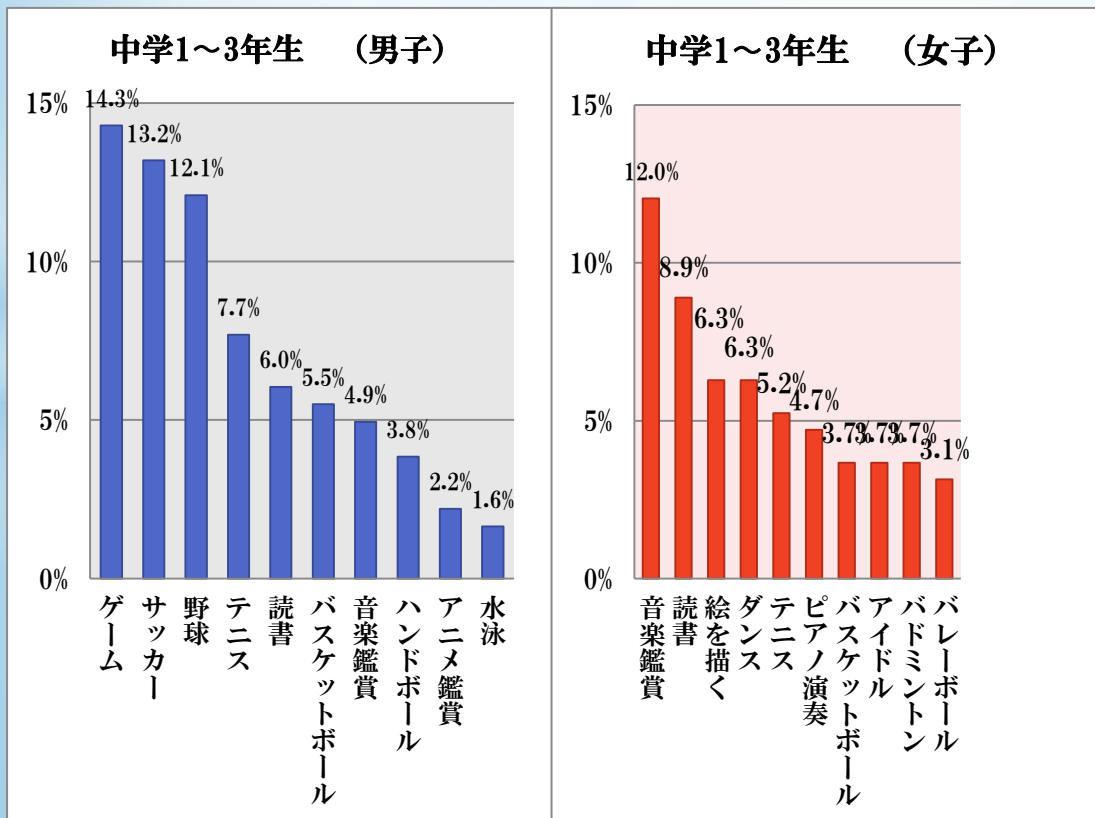
回答	総計	
	411	
ある	375	91.2%
なし	36	8.8%



集計結果詳細

【中学生】

質問②-1 質問①で「ある」と答えた方の「好き」なことは何ですか？



中学生になると、小学生にて順位を下げていたゲームが男子生徒にて伸びており部活動に影響を受けているように見てとれる。

女子は音楽鑑賞や絵を描くことが順位を上げており、自らの好みが見れる分野が増える傾向があるのではないか。



【中学生】

質問②-2 質問①で「ない」と答えた方は、以前に「好き」なことはありましたか？

中学1年生											
男					女					男女総計	
回答		7			回答		5			12	
ある	—	0	0.0%	ある	新体操 (バトン)	1	20.0%	1	8%		
ない(空白)	—	7	100.0%	ない(空白)	—	4	80.0%	11	92%		

中学2年生											
男					女					男女総計	
回答		7			回答		9			16	
ある	格闘家	1	14.3%	ある	ゲーム	1	11.1%	5	31%		
					フラワーアレンジ	1	11.1%				
					写真撮影	1	11.1%				
					水泳	1	11.1%				
ない(空白)	—	6	85.7%	ない(空白)	—	5	55.6%	11	69%		

中学3年生											
男					女					男女総計	
回答		6			回答		2			8	
ある	ゲーム	1	16.7%	ある	バレーボール	1	50.0%	4	50%		
	絵画	1	16.7%								
	読書	1	16.7%								
ない(空白)	—	3	50.0%	ない(空白)	—	1	50.0%	4	50%		

好きなことが「ない」と答えた生徒のうち、全体の7割が以前も好きなことがないと回答した。

ただし、学年が上がるごとに「ない」の数も減っており、中学生活の中で好きなことを見つけられているのではないかと。

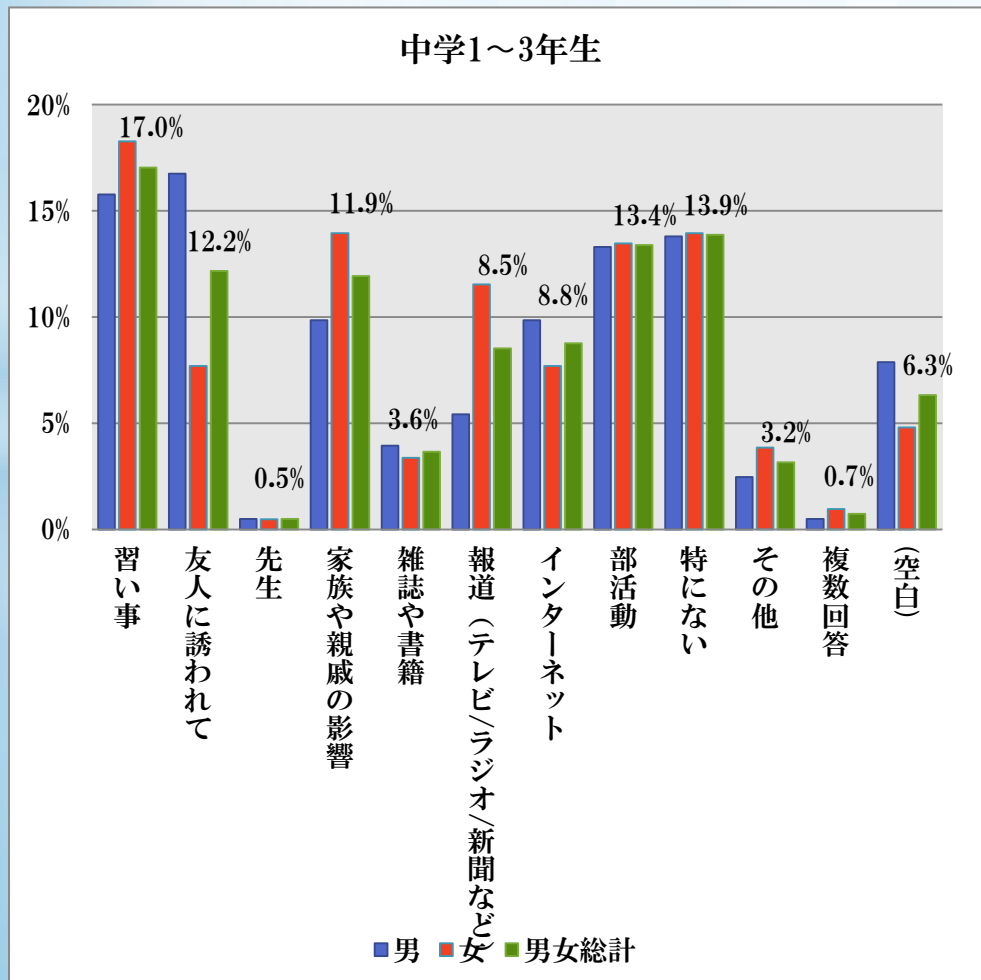
回答	総計	
		36
ある	10	28%
ない(空白)	26	72%



集計結果詳細

【中学生】

質問③ あなたが「好き」なことに出会った最初のきっかけは何ですか？



きっかけとして男女共に最も多いのは習い事であった。友人や家族など人に影響される割合も多いようだ。部活動は2年生をピークに多く見られ、3年生になると報道やインターネットによる外的な要素がきっかけとなっている。

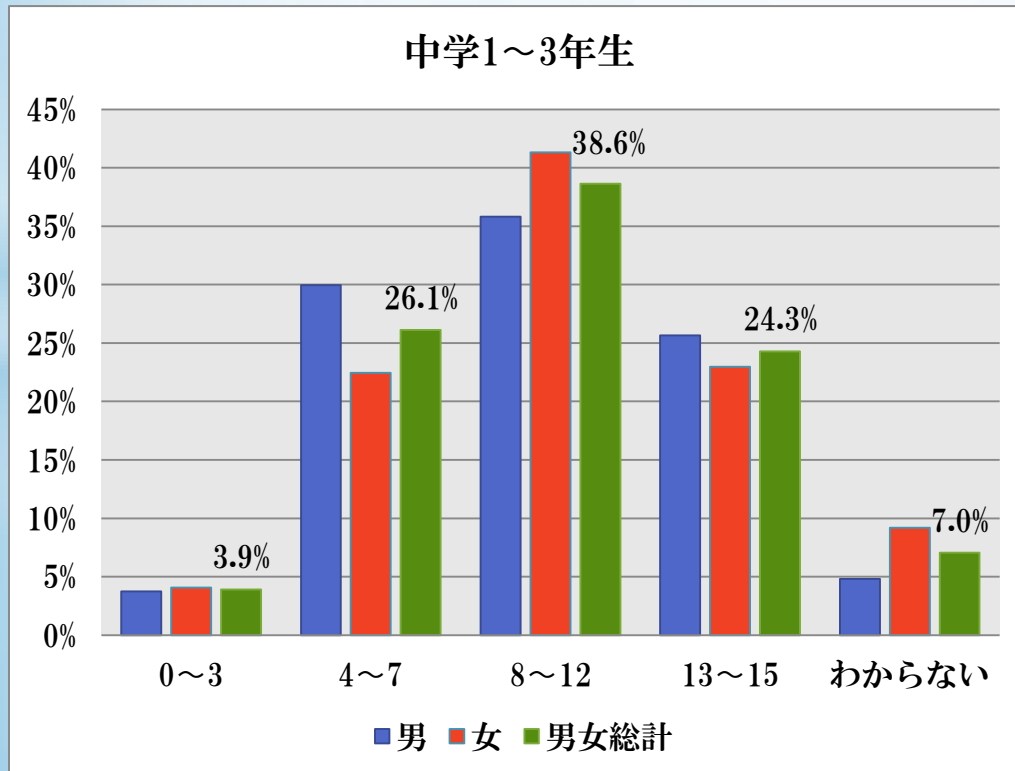
見落とせないのは、「特にない」がとても多いこと。これは無意識に好きになったということで、環境や状況に大きく左右されるということか。



集計結果詳細

【中学生】

質問④ あなたが「好き」なことに出会った(興味を持った)のはいつ頃ですか？



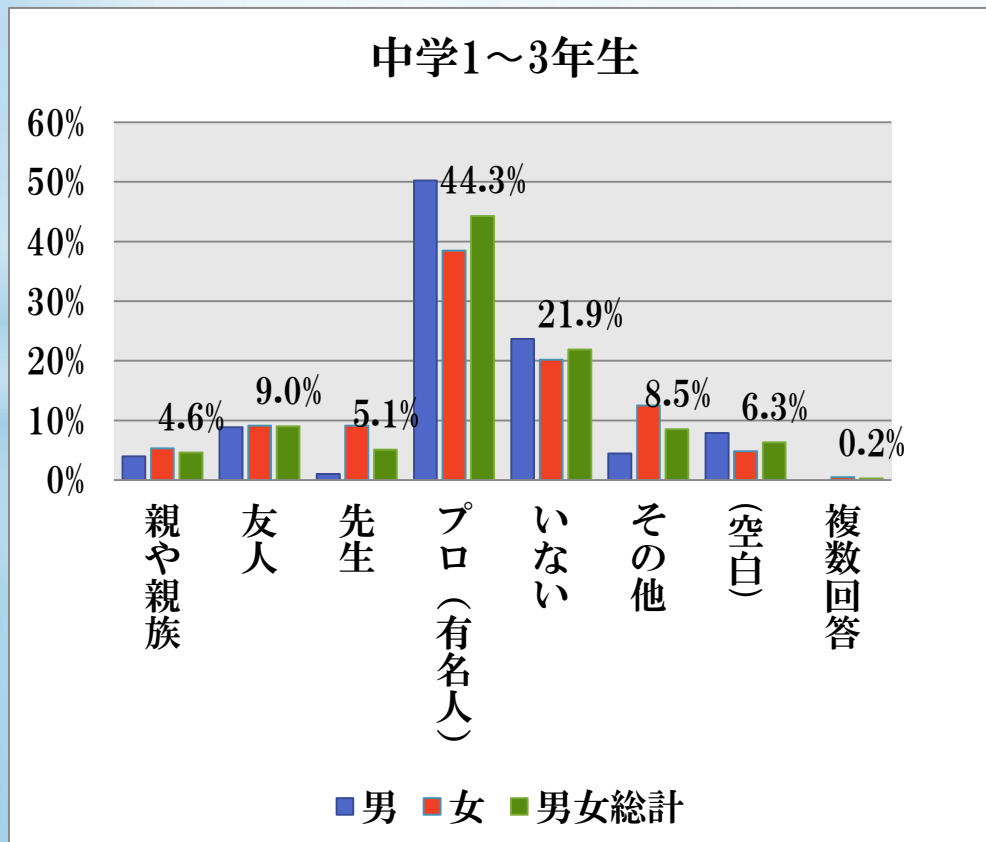
中学生が好きなことに出会った年齢は、全学年ともに8～12歳に多く見られ、小学生時に影響を受けたものが多いようである。

続いて、1年生は4～7歳が多いが、2年生と3年生で13～15歳が伸びていることから、中学生活中にも新たな出会いが多くあったという結果が見てとれた。



【中学生】

質問⑤ あなたが「好き」なことにて、憧れの存在はいますか？



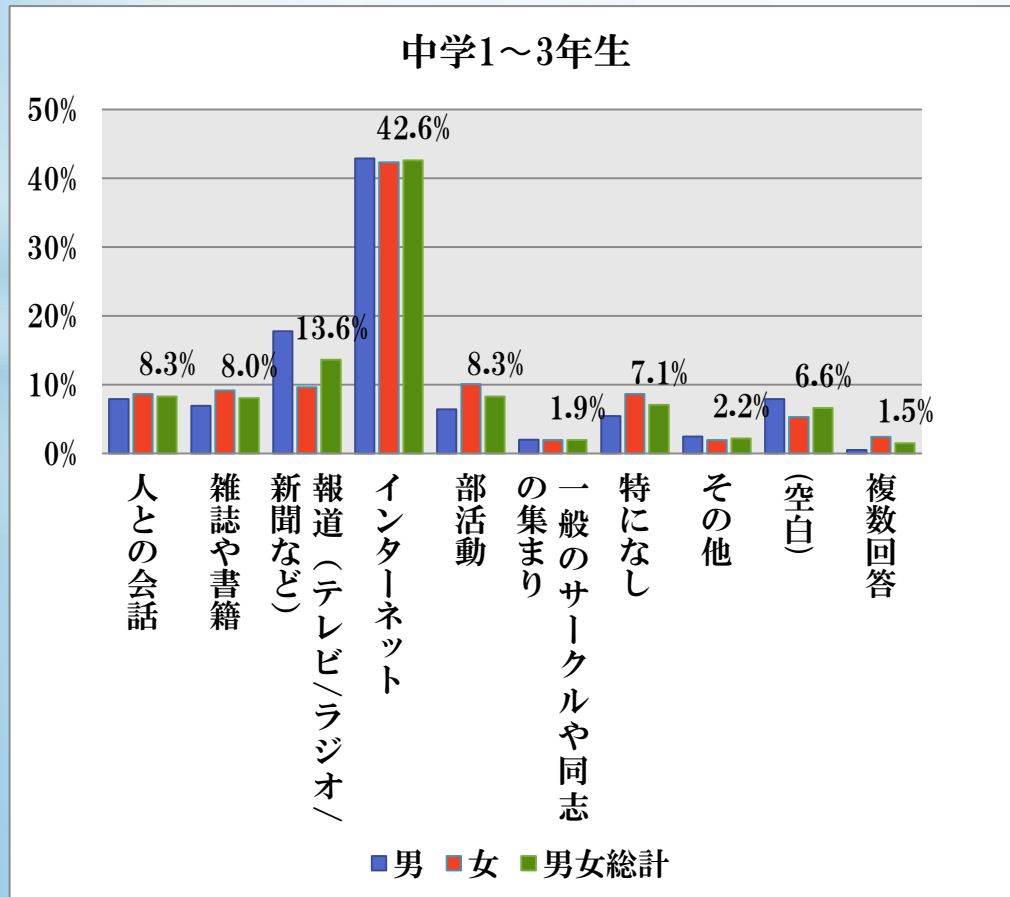
中学生が自分の好きなことで憧れる存在は、やはりその道の「プロ（有名人）」が圧倒的に多い。報道や影響力のある影響が強いようだ。

ただ少ないながらも、親族や友人、先生などの2割弱は身近な存在に憧れを抱く生徒がいることも着目したい。



【中学生】

質問⑥ あなたが「好き」なことの情報を集めるために最も利用する方法は何ですか？



中学生が自分の好きなことの情報を集める方法は、学年や性別を問わず、圧倒的な数でインターネットが多かった。どんなことでも調べられることを考えれば、今の時代はこれが主流といえる。報道を含めると5割強となった。

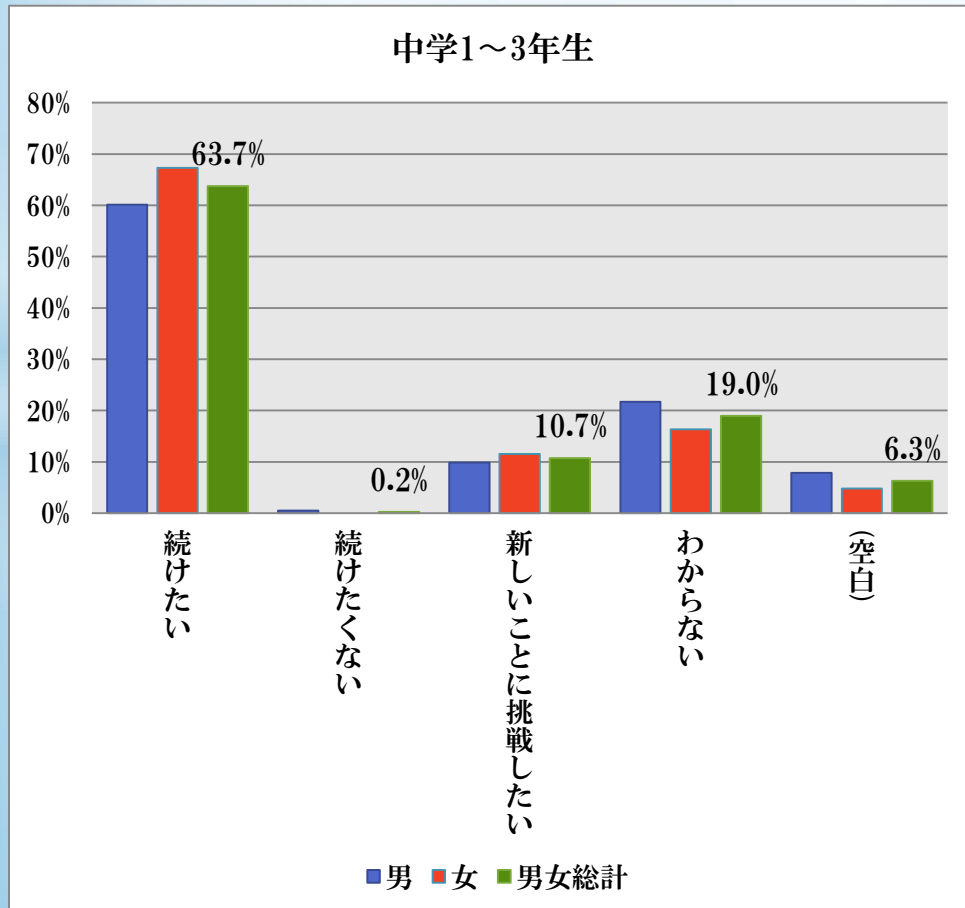
その他、人との関わりで情報を得る機会は分散していることが見てとれる。ただ合わせても2割程度に留まった。



集計結果詳細

【中学生】

質問⑦ あなたが「好き」なことを、大人になっても続けたいですか？



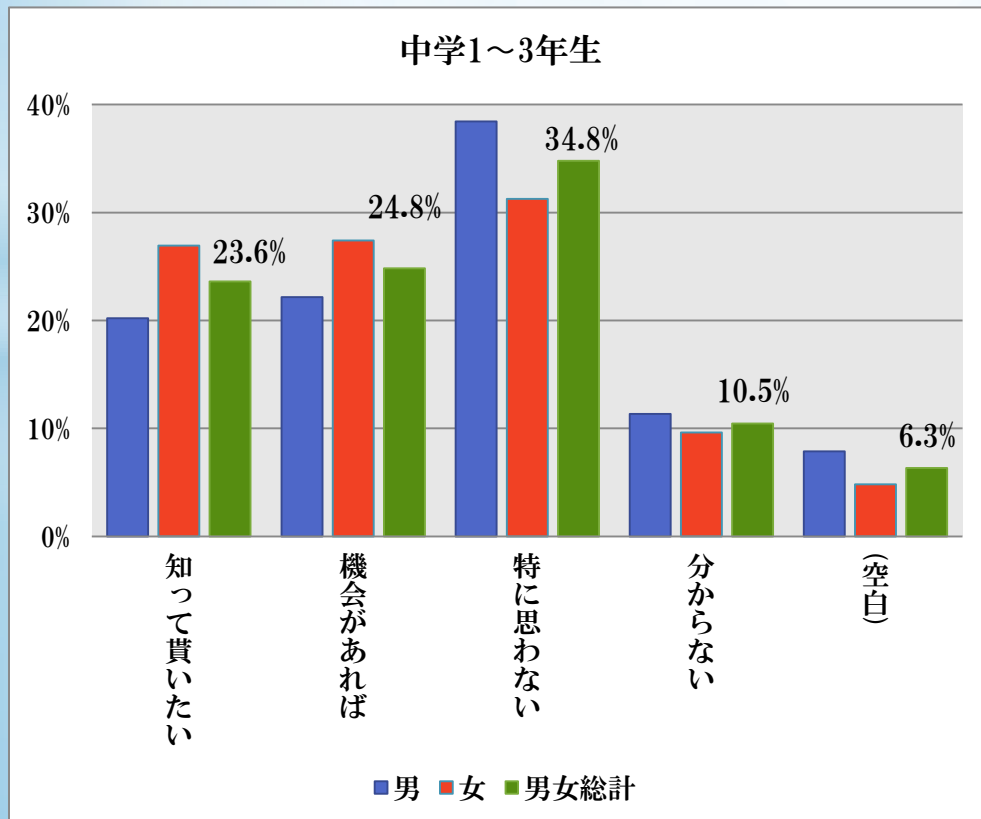
中学生の多くが今好きなことについて大人になっても「続けたい」と回答した。

2年生の回答では自信を無くしているのか「わからない」がやや増えたものの、3年生では減少しており、自らの好きなことについて継続する意欲が強く感じられる。



【中学生】

質問⑧ あなたが「好き」なことの魅力を周りの人々に知って貰いたいと思いますか？



中学生が自らの好きなことを人々に「知って貰いたい」が2割となった。「機会があれば」と合わせると5割ほどであった。

なお、「特に思わない」は3割強となり、周りとの魅力や情報の共有に否定的な生徒が多いようである。



【中学生】

質問⑨-1 あなたの好きなことの魅力を教えてください。

回答を頂いたそれぞれの好きなことと、その魅力は別紙の通りである。

生徒たちが感じる「魅力」とは、人とのつながりや爽快感、ストレス発散など、様々な意味合いをもっていることが分かった。



【中学生】

質問⑨-2 どんな時に魅力を伝える機会があるのか教えてください。

回答を頂いたそれぞれの好きなことと、その魅力を伝える機会は別紙の通りである。

生徒たちが感じる「魅力を伝える機会」とは、イベント事など大きな機会の他、日常に存在する小さなタイミングをきっかけに伝えられると期待していることが多かった。



【中学生】

質問⑨-3 なぜ特に思わないと思うのですか？

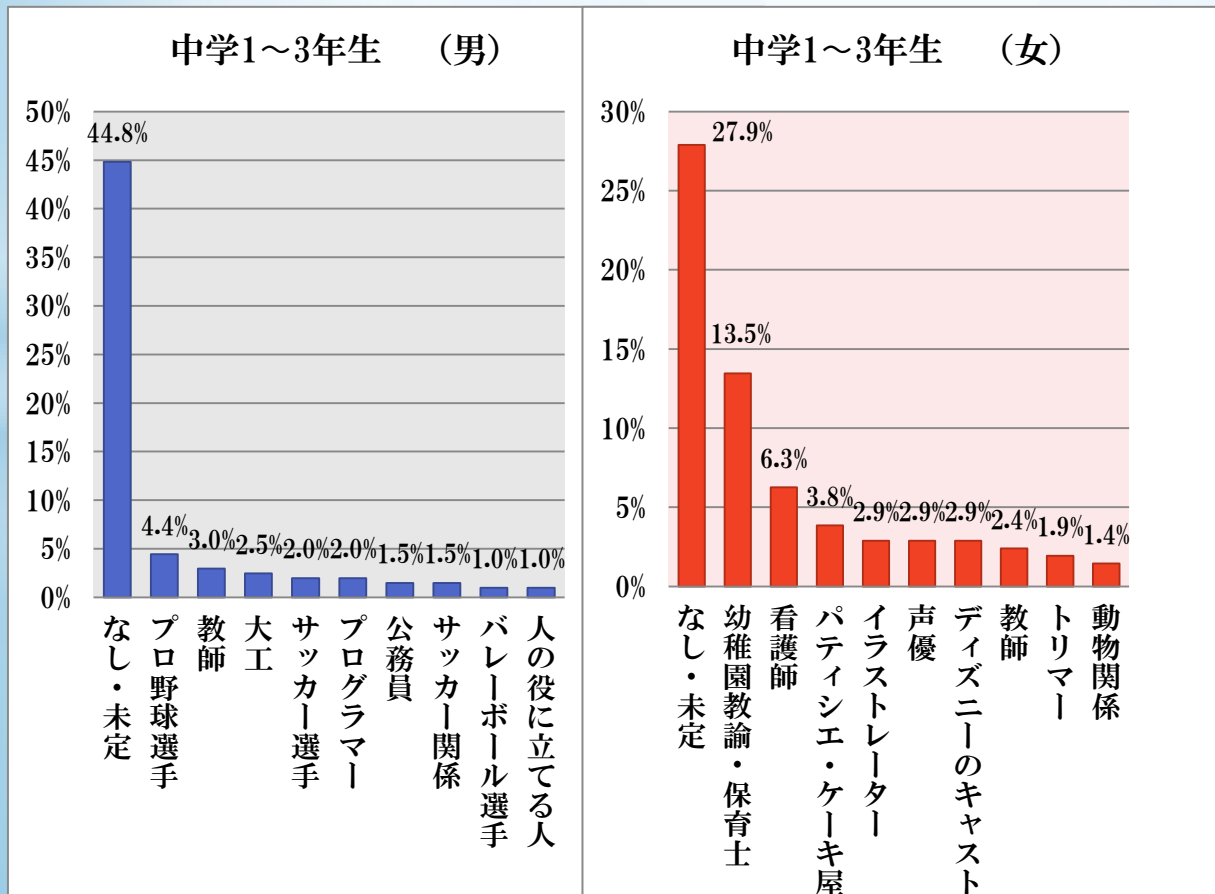
特に思わない理由として、「他人に押し付けたくない」や「自分だけ楽しければよい」など、人に魅力を伝えることに否定的な生徒の意見はなかなか冷ややかな考えも多く見られた。

すでに周知されており、発信する必要ないと考えるものや、「上手ではない」「自慢できるものではない」などマイナス思考な理由からのものも多かった。



【中学生】

質問⑩ あなたの将来になりたい職業や夢は何ですか？



中学生の将来になりたい職業や夢は、男子は5割弱、女子の3割弱が「なし・未定」と回答した。好きなことは様々なものがあったが、なかなか将来の職業や夢とは結びつかないようである。ただ、回答率が減少、変動しているものの小学生で回答された職業も引き続き多く見られている。



【高校生】

質問① あなたが今、「好き」な趣味や特技はありますか？

回答	高校1年生					
	男		女		男女総計	
	149		259		408	
ある	125	83.9%	224	86.5%	349	85.5%
なし	24	16.1%	35	13.5%	59	14.5%

高校生では、1年生で8割強の生徒が趣味や特技があると答えた。

しかし、学年を重ねるに連れて減少傾向にある回答を得た。全体では8割台を維持しているものの3年生では7割台となった。

回答	高校2年生					
	男		女		男女総計	
	131		221		352	
ある	103	78.6%	191	86.4%	294	83.5%
なし	28	21.4%	30	13.6%	58	16.5%

上昇傾向が見られた中学生とは逆の傾向となった。

回答	高校3年生					
	男		女		男女総計	
	134		226		360	
ある	104	77.6%	176	77.9%	280	77.8%
なし	30	22.4%	50	22.1%	80	22.2%

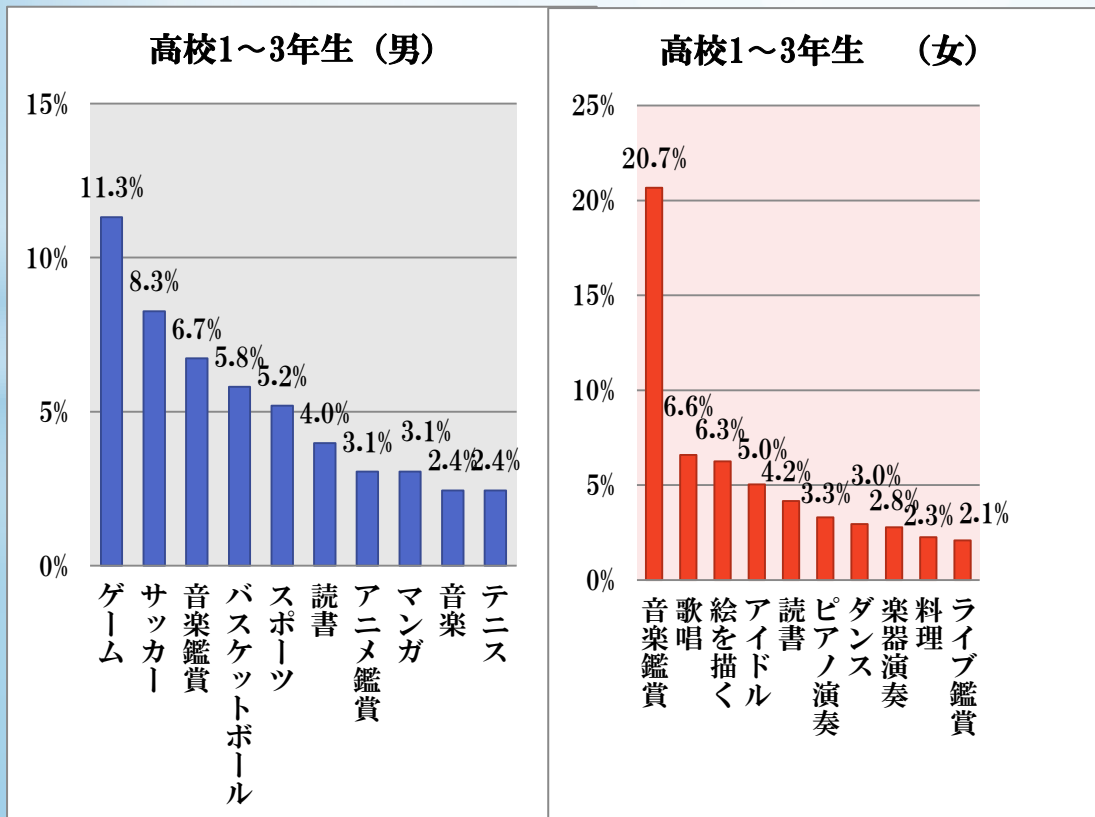
回答	総計	
	1120	
ある	923	82.4%
なし	197	17.6%



集計結果詳細

【高校生】

質問②-1 質問①で「ある」と答えた方の「好き」なことは何ですか？



高校生では、男子は中学生と同様にゲームとサッカーが人気であるが、野球やテニスに変わりバスケットボールの人気が高くなった。

女子は学校の特色も考慮しなければならぬが、音楽鑑賞や歌唱が大きく伸びた。また、運動系の項目も上位に入らない結果となった。



【高校生】

質問②-2 質問①で「ない」と答えた方は、以前に「好き」なことはありましたか？

高校1年生									
男				女				男女総計	
回答	24			回答	35			59	
ある	6	25.0%		ある	10	28.6%	16	27.1%	
ない(空白)	18	75.0%		ない(空白)	25	71.4%	43	72.9%	

高校2年生									
男				女				男女総計	
回答	28			回答	30			58	
ある	2	7.1%		ある	5	16.7%	7	12.1%	
ない(空白)	26	92.9%		ない(空白)	25	83.3%	51	87.9%	

高校3年生									
男				女				男女総計	
回答	30			回答	50			80	
ある	3	10.0%		ある	8	16.0%	11	13.8%	
ない(空白)	27	90.0%		ない(空白)	42	84.0%	69	86.3%	

好きなことが「ない」と答えた生徒のうち、全体の8割が以前も好きなことがないと回答した。

3年生になると、今と以前の両方において「ない」との回答が増加している。

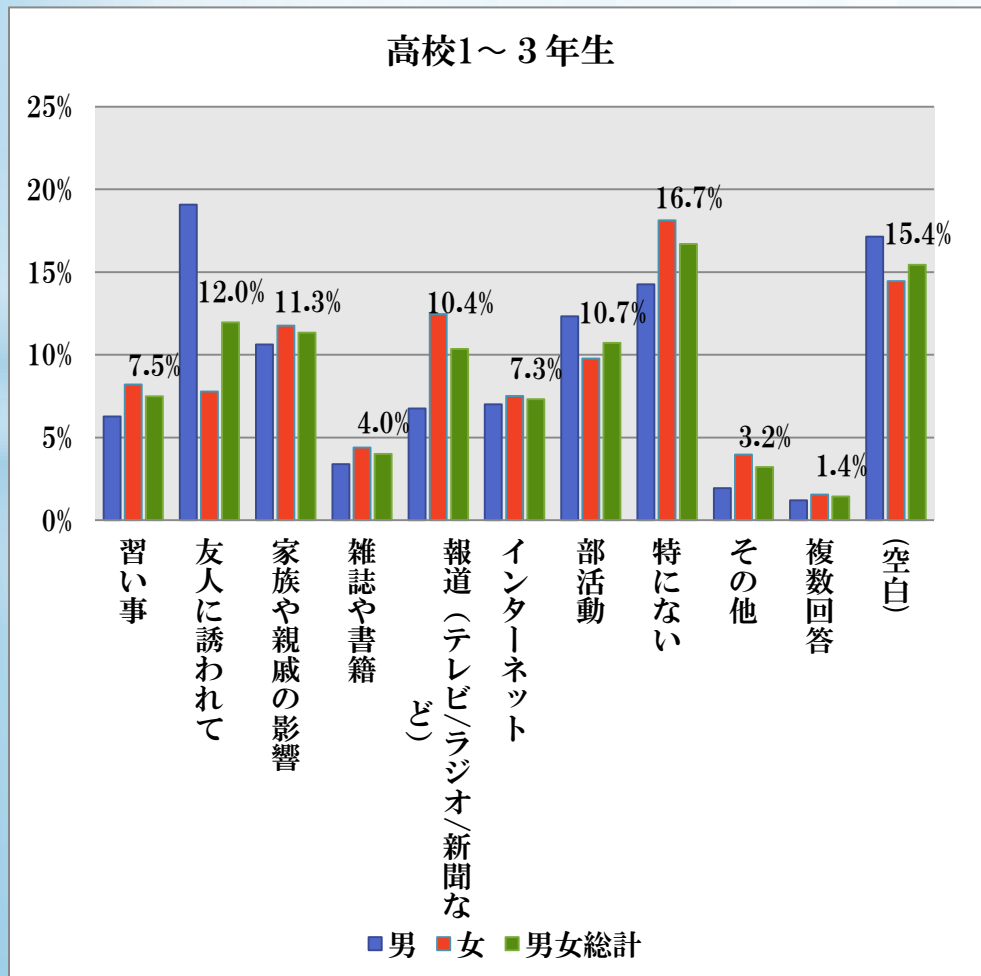
回答	総計	
		197
ある	34	17.3%
ない(空白)	163	82.7%



集計結果詳細

【高校生】

質問③ あなたが「好き」なことに出会った最初のきっかけは何ですか？



高校生のきっかけは、中学生で最も高かった習い事が減少しており、友人や家族、部活動と分散傾向にある。

男子では、中学生と同様に友人の影響が特に高い傾向にあり。家族などの影響の割合も中学生とさほど差異がなかった。

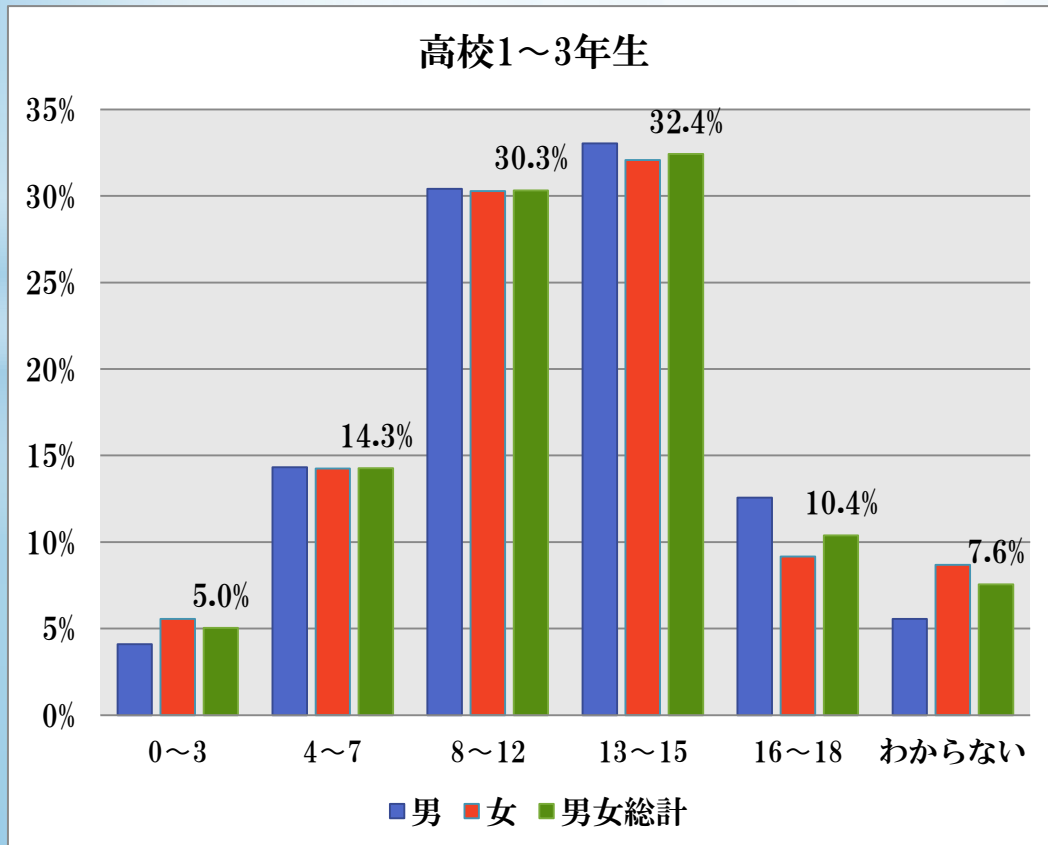
3年生では極端に多い項目はなくなりつつあり、全体的に分散している。

「特にない」は中学生よりもやや増加傾向にあるようであった。



【高校生】

質問④ あなたが「好き」なことに出会った(興味を持った)のはいつ頃ですか？



中学生全体では8～12歳が最も多かったが、高校生全体では13～15歳が最も多い結果となった。

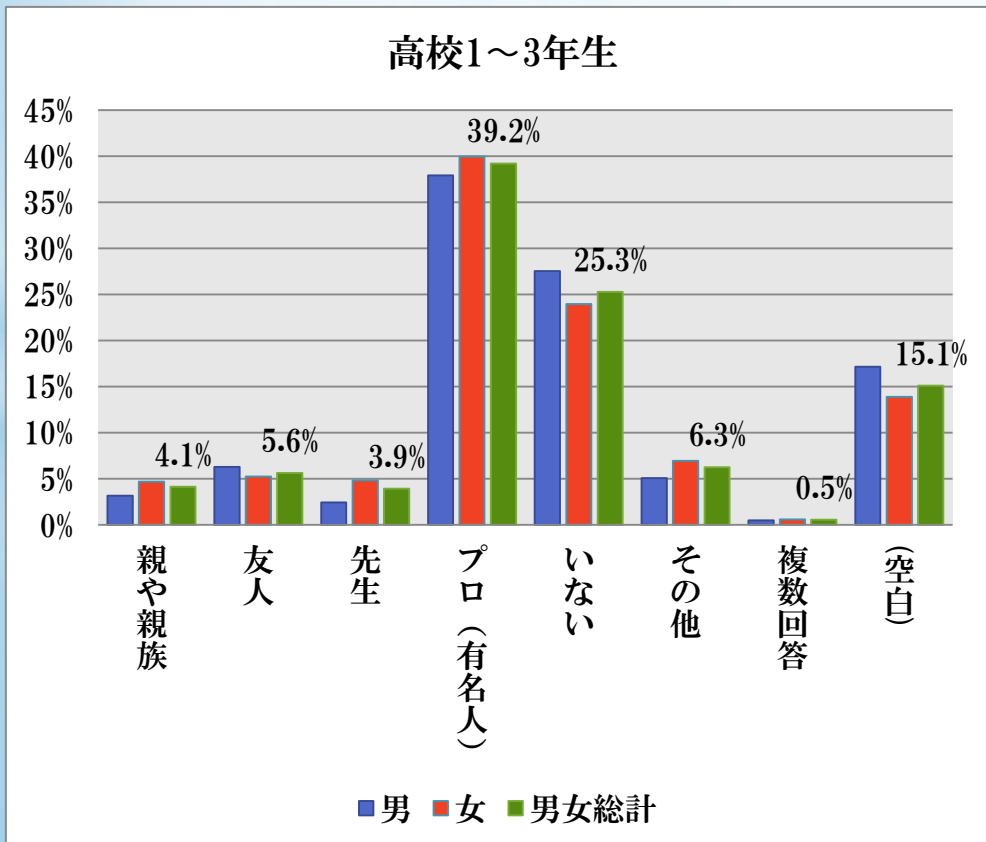
16～18歳も学年を重ねるごとに増加傾向にあることから、高校3年間の中で、成長に応じ新しく好きなことに出会っていることここから見てとれる。



集計結果詳細

【高校生】

質問⑤ あなたが「好き」なことにて、憧れの存在はいますか？



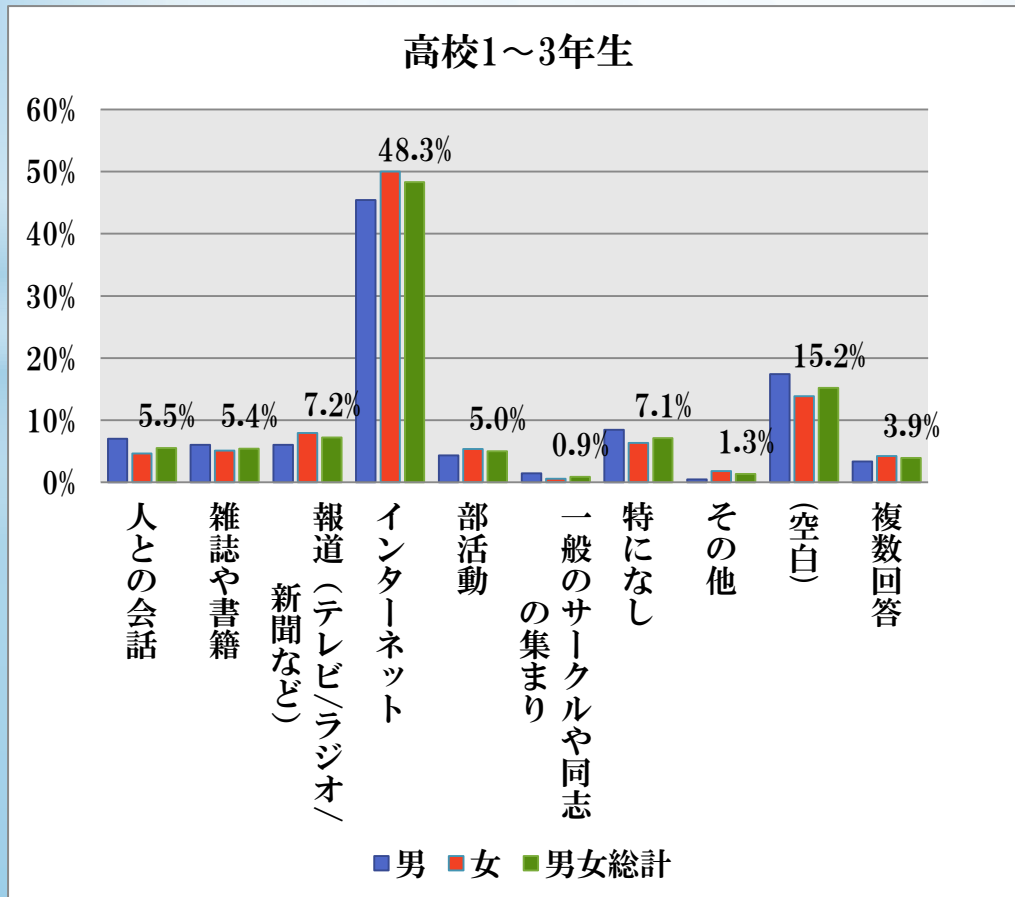
自分の好きなことで最も憧れる存在は「プロ（有名人）」と、多少の増減はあるものの中学生の傾向にととても近い結果となった。

成長を重ねてもなお、親族や友人、先生など合わせて1割強の生徒が憧れを抱いているようだ。



【高校生】

質問⑥ あなたが「好き」なことの情報を集めるために最も利用する方法は何ですか？



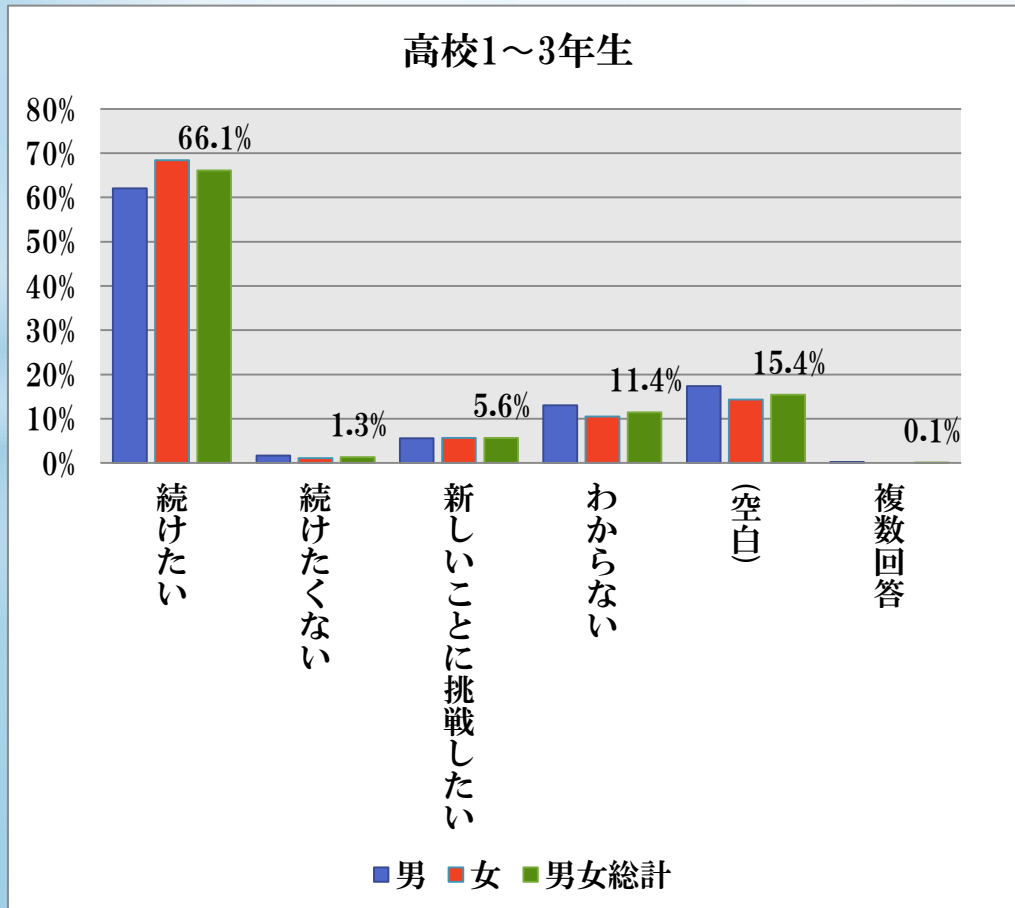
高校生も中学生と傾向がとても近い結果となり、学年や性別を問わず、圧倒的な数でインターネットが多かった。やや減少しているが、人との関わりで情報を得る機会はいずれを合わせても1割強に留まった。



集計結果詳細

【高校生】

質問⑦ あなたが「好き」なことを、大人になっても続けたいですか？



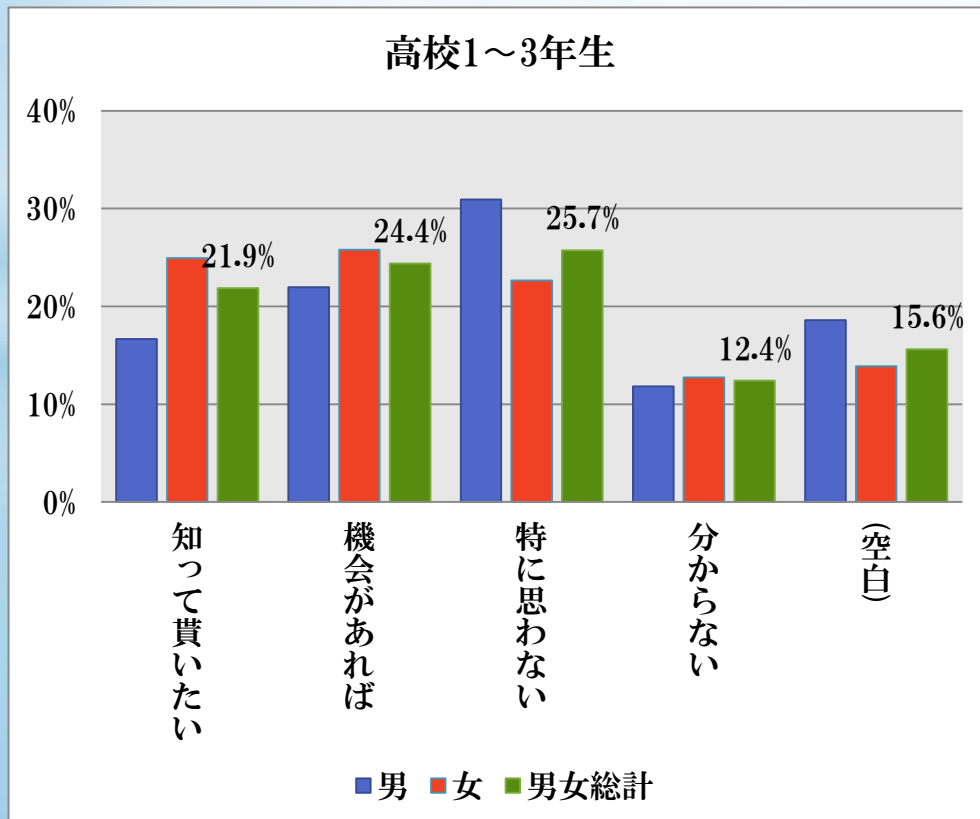
高校生も中学生と同様に多くが今好きなことについて大人になっても「続けたい」と回答した。

高校3年生にとって、なかには社会人になる直前の生徒もいるなかの調査であり、大人となって継続する趣味に影響を与える可能性がある重要な傾向である。



【高校生】

質問⑧ あなたが「好き」なことの魅力を周りの人々に知って貰いたいと思いますか？



高校生では自らの好きなことを人々に「知って貰いたい」が中学生とほぼ同じ2割強となった。「機会があれば」と合わせると4割強であった。なお、「特に思わない」は2割強となり、中学生の3割強より減少した。

好きなことの内容にもよるが、思春期を迎えた生徒にとっては他人と情報を共有する恐怖やリスクも考える世代なのではないか。



【高校生】

質問⑨-1 あなたの好きなことの魅力を教えてください。

回答を頂いたそれぞれの好きなことと、その魅力は別紙の通りである。

生徒たちが感じる「魅力」とは、やはりポジティブな考えや人とのつながりや知って貰った効果を表現するなど生き生きと回答していただいた。



【高校生】

質問⑨-2 どんな時に魅力を伝える機会があるのか教えてください。

回答を頂いたそれぞれの好きなことと、その魅力を伝える機会は別紙の通りである。

生徒たちが感じる「魅力を伝える機会」とは、それぞれの好きなことにより異なるが、やはりイベント事など大きな機会や、日常でのタイミングをきっかけに伝えたいと期待している回答が多かった。



【高校生】

質問⑨-3 なぜ特に思わないと思うのですか？

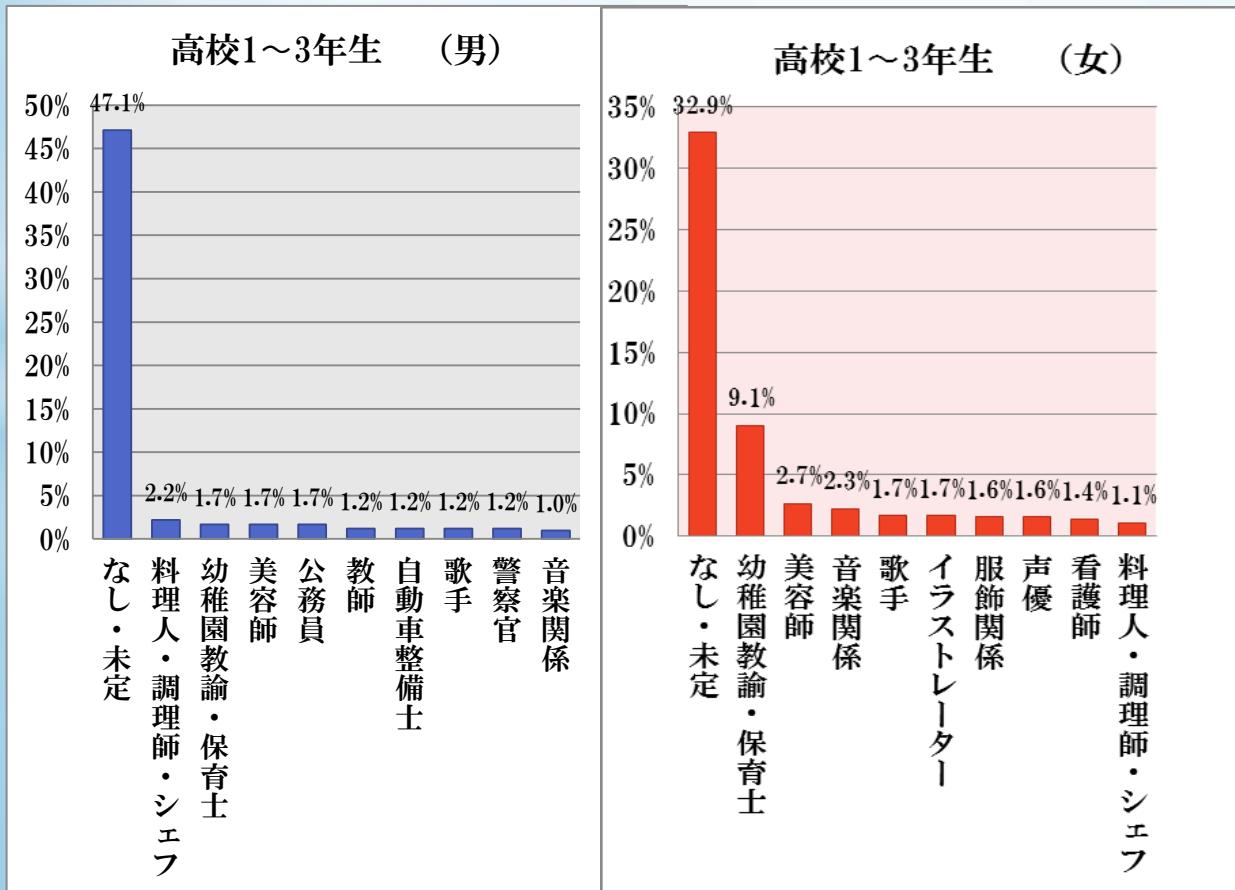
特に思わない理由では、中学生の回答と同様に、人に魅力を伝えることに否定的な生徒の意見はなかなか冷ややかな考えも多く見られた。

すでに周知されており、発信する必要ないと考えるものや、「上手ではない」「自慢できるものではない」などマイナス思考な理由からのものも多かった。

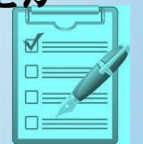


【高校生】

質問⑩ あなたの将来になりたい職業や夢は何ですか？



高校生になり、憧れる職業に変化が見えてきた。男子は、中学生ではプロスポーツ選手が入っていたが、公務員や幼稚園教諭も伸びている。女子の幼稚園教諭も根強い人気で常に多い傾向にある。男女共に、歌手や声優といった憧れがあるものの堅実な職業に考えが動いているか。



4. 活用案発表

テーマ①青少年健全育成事業への活用案

- 調査結果を組み合わせることで、テーマ(内容)に応じた適正な学年(年齢)、性別の判断や集客数の計画に利用する。
- 広報を対象の子どもたちがより多く興味を持っている方法や影響ある存在の人から発信する。

4. 活用案発表

テーマ②家庭・学校教育への活用案

－家庭教育－

- ・人気の趣味・特技と職業を知ること、将来性を考えた習い事を選定
- ・本やゲーム、スマートフォンなどを買い与える適正な学年(年齢)の参考にする。

－学校教育－

- ・部活動と連動した進路、進学相談や教育の充実
- ・子どもたちが具体的な将来の夢を持つ学年に、影響の受けやすい特別講師や体験型学習のプログラムを充実させる。

5. 2015年度事業への活用案

8月 未知の感動を与える事業への活用

自らの好きなことについて考えられる最適な
学年(年齢)や好きなことに出会った数の多
い年齢に参加者を絞る

学校・部活動を通
して星や天体観測
に興味がある子へ
告知

好きなことがない
子どもにも参加を
呼びかける

好きなことへの発信することに
魅力を感じてもらう

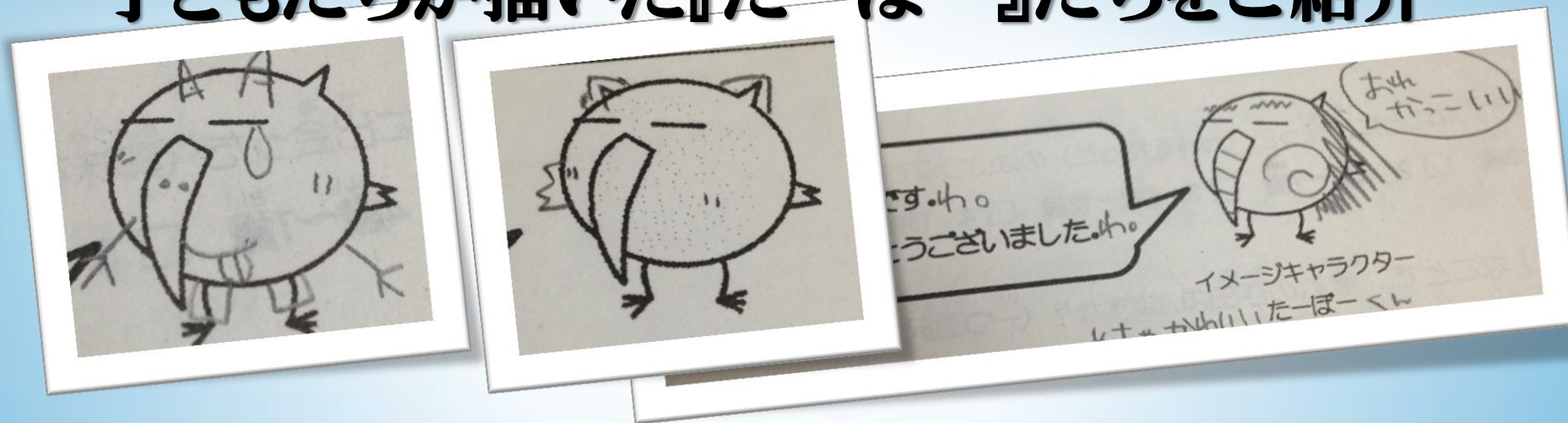
6. 今後の展開

- **調査結果を対外向けに整理し、行政、教育委員会、各学校等へ意識調査の集計結果と活用案を報告提言する。**
- **地域団体や一般の方々に公開し、共有することで街づくりの参考資料とする。**

7. たーぼーコレクション2015



子どもたちが描いた『たーぼー』たちをご紹介します



2015年度 吉川青年会議所
子どもたちの好きを知る意識調査報告

ご清聴ありがとうございました。